

## 大腸菌由来グリセロール-3-リン酸脱水素酵素、組換え

Cat. No. NATE-1904

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明**  $\alpha$ -グリセロールホスフェート脱水素酵素は、ジヒドロキシアセトンを経由してグリセロールリン酸に交換する反応を触媒します。

**用途** この酵素は、グリセロールキナーゼと結合することで、グリセロールおよびトリグリセリドの酵素的測定に役立ちます。

**別名**  $\alpha$ -グリセロールリン酸脱水素酵素 (NAD);  $\alpha$ -グリセロリン酸脱水素酵素 (NAD); グリセロール 1-リン酸脱水素酵素; グリセロールリン酸脱水素酵素 (NAD); グリセロリン酸脱水素酵素 (NAD); ヒドログリセロリン酸脱水素酵素; L- $\alpha$ -グリセロールリン酸脱水素酵素; L- $\alpha$ -グリセロリン酸脱水素酵素; L-グリセロールリン酸脱水素酵素; L-グリセロリン酸脱水素酵素; NAD- $\alpha$ -グリセロリン酸脱水素酵素; NAD依存性グリセロールリン酸脱水素酵素; NAD依存性グリセロール-3-リン酸脱水素酵素; NAD-L-グリセロール-3-リン酸脱水素酵素; NAD連結グリセロール 3-リン酸脱水素酵素; NADH-ジヒドロキシアセトンリン酸還元酵素; グリセロール-3-リン酸脱水素酵素 (NAD); EC 1.1.1.8; 9075-65-4;  $\alpha$ -GDH

### 製品情報

由来	大腸菌
外形	凍結乾燥された
EC番号	EC 1.1.1.8
CAS登録番号	9075-65-4
分子量	ca. 73,600; Subunit molecular weight : ca. 36,800.
比活性	7 U/mgタンパク質以上
pH安定性	6.5 - 10.0
最適pH	9
熱安定性	80 °Cまでの活動の減少は認められません。
ミカエリス定数	(90 mM ピシス緩衝液 pH 9.0、37 °Cにて) グリセロール-3-リン酸: 0.119 mM; NAD+: 0.036 mM。
単位定義	1単位の活性は、37°Cで1分間に1 $\mu$ molのNADHを生成するG3PDHの量として定義されます。
反応	グリセロール-3-リン酸 + NAD+ $\leftrightarrow$ ジヒドロキシアセトン 3-リン酸 + NADH + H+

### 保管・発送情報

**保存方法** -20 °Cで少なくとも1年間安定しています。